

[月刊]

2008. JUL

平成20年7月10日

岩手よもっと
元気になれ!

(財)いわて産業振興センター広報誌

産業情報 いわて

Vol.

76

CLOSEUP
岩手力!

株式会社岩本電機

優良受注企業紹介

特集

あなたの経営課題を解決します!
地域力連携拠点事業

お知らせ

いわて希望ファンド 公募中
模擬演習教材を貸し出します
下請かけこみ寺 移動相談所開設

企業検索料金改定
「いわての技」発刊
ビジネスプラングランプリ参加者募集

CLOSEUP

岩手力!

優良受注企業紹介

株式会社岩本電機



自動加工の設備（写真奥）と、肉眼による品質管理の様子。「数10万本の中に1本でも不良品があれば、お客様の信頼を損ないます。常にゼロを目指して頑張っています」（自動加工課リーダーの松村佑介さん）



端子圧着加工された電線。肉眼による検品で高い品質が維持されている

製品の高い品質と対応力で、
業界大手との安定受注を確保。
「メーカーとしての飛躍」を志に抱き、
時代の環境変化に対応した経営を目指す。

家内工業的に始めた事業

「私たちの会社ほど、産業振興センターさんのさまざまな事業を活用して発展してきたところはないのではないのでしょうか」

岩本電機の岩本明佳社長は、インタビューの冒頭、笑顔で切り出した。

同社の主力製品は、産業機械、家庭電気製品などのハーネス（内部配線部品）だ。複数の電線がコンパクトにまとめられ、電気製品自体の安全性を守るほか、装着の利便性によるスピード化、コストダウンなど多くの利点を発揮する。

同社のスタートは88年だ。知人から「北上の誘致企業が、協力会社を募集している。やってみたらどうだ」と勧められたのがきっかけ。岩本氏は、八戸工業大の電気工学科を卒業していた。その経歴が知人の目にとまったのだろう。

「当時私は、東京の製造会社を退社して帰郷したばかり。小さな子供が二人いて、家族が食べていく必要があった。よし、やっ

てみよう」と

自宅にダンボールが届けられた。ハーネスの部品である。妻と二人で、自宅で作業を始めた。

「まるで内職的な仕事でしたから、夫婦で一カ月頑張っても数万円。これではいかんと思って、仕事量を増やすために親会社に頼み込んで機械を導入してもらった」

設備貸与事業の活用が転機

機械導入で、人も雇わなければならなくなった。岩本夫妻は無我夢中で仕事に打ち込んだ。

91年には有限会社に組織替えし、社名も岩本電機製作所とした。その直後、岩本社長のところ突然、いわて産業振興センター（当時は岩手県中小企業振興公社 以下同じ）のスタッフが飛び込みで訪ねてきた。センターの役割と事業を説明したあとで、会社を発展させていくためのさまざまな情報を提供してくれた。岩本社長は設備貸与の事

洋野町種市の岩本電機（本社洋野町）は、産業機械、家庭電気製品などのハーネス（内部配線部品）の企画・開発・製造を行っている。1988年に夫婦で始めた事業は、20年で従業員50人規模の企業に成長。「メーカーとしての飛躍」を志に抱き、時代の環境変化に対応した経営を目指している。



本社新工場内の様子。ハーネスは、切断から圧着、ハンダ付けまで、一貫した自動化ラインで生産されている。写真奥には関連会社「イワテック電子」のラインも設備されている

業があることを知り、早速申し込んだ。

「最初が両端圧着機の設備貸与（92年度）でした。今は古くなって使えませんが、さまざまな思い出がつまっているので、どうしても捨てられません」

会社は順調に軌道に乗っていった。が、ある時、岩本社長は気付いた。

「もっと会社を伸ばしていくには、経営に関する勉強をしなければいけない」岩本社長は言う。

「そもそも経営をしたくて会社を始めたのではない。食べていくことが優先だった。ですから、経営知識もなければ理念も何もない。このままでは、何かあれば、すぐにつまづいてしまうと思った」



◀電線の自動切断。切断されたあとは、次の圧着やハンダ付けの工程に素早く移っていく



▼平行電線の端子圧着。機械によって一瞬で圧着加工される

センターで「経営」を一から勉強

岩本社長は93年、妻の岩本いずみ専務は96年、いわて産業振興センターの経営者大学講座を受講した。

『会社の意義』『誰のために存在しているか』『経営指数』など、経営に関するありとあらゆることを勉強させていただいた。特に、問題意識が創造の原点であり、常識、経験に振り回されず、出来るか出来ないではなく、やるかやらないかが事業家にとって大切なことであるとの教えを受けた」

経営理念もつくった。「それまではお取引先と話をしても、自分たちのことを語ることができなかった。しかしそれからは、商談においても自分たちの意見をはっきりと主張できるようになった」。このほかにも、94年から受注企業の紹介・斡旋支援を活用してきた。

「接触を試みてもなかなか門戸を開いてくださらなかった企業が、センターさんの紹介ということで会ってくれた」

同社はその後、99年にイワテック電子を新たに設立。04年に岩本電機製作所から岩本電機に改組し株式会社化、05年に本社新工場完成と歩みを進めてきた。岩本社長は「技術革新と時代要請の中で、時代の環境変化に素早く対応できなければ生き残っていけない。このことを認識して切磋琢磨している」と話している。



◀検品も終わり、発送直前の製品

企業概要

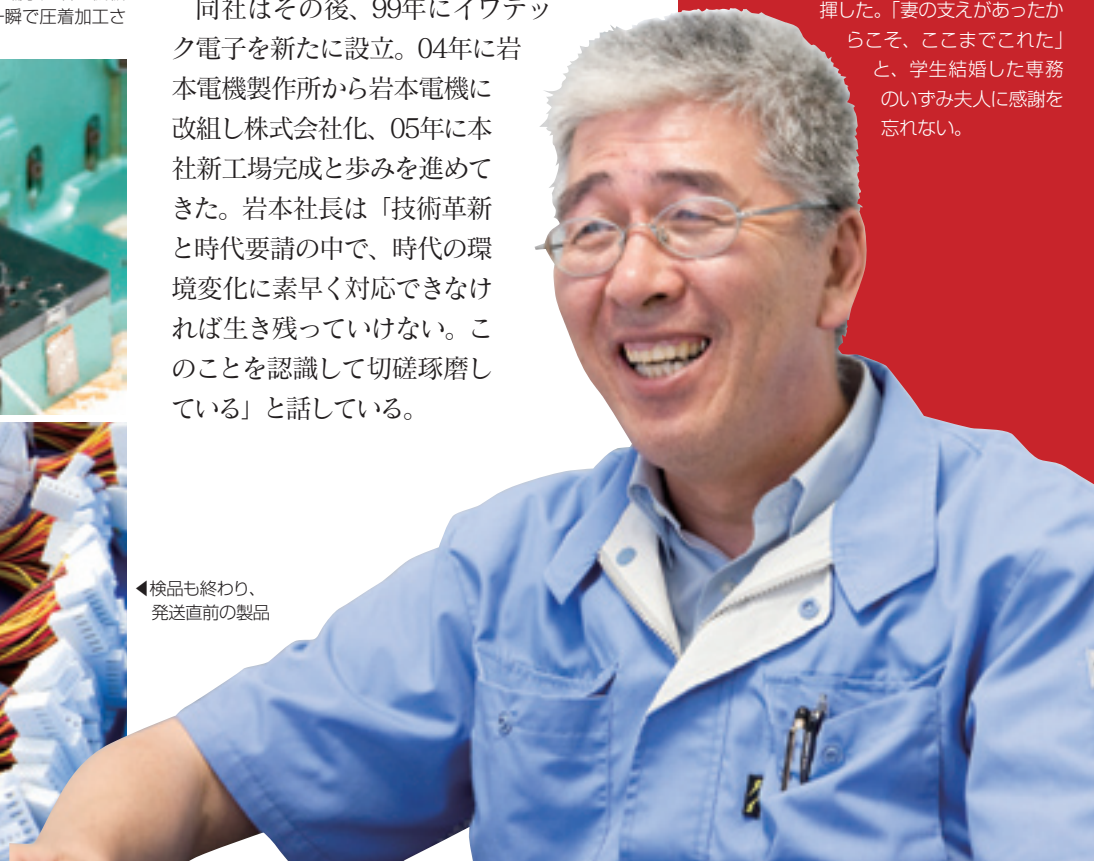
- 設立 1988年（「マルモトハーネス」）
- 代表者 岩本明佳
- 所在地
〔本社・新工場〕
洋野町種市13地割41番25
電話 0194-65-3930
- 資本金 3,000万円
- 従業員数 55名（関連会社含む）
- 関連会社
（有）イワテック電子、岩本商事、IGS（Iwamoto General System）
- 事業内容
産業機械、通信機器、民生機器のハーネス部品製造及び組立
- 主要取引先
（株）芝浦電子、日本パルスモーター（株）、日本電産コパル（株）、谷村電気精機（株）、国立大学法人東京大学など

URL
<http://www.iwamotodenki.co.jp/>

■活用したいいわて産業振興センターの事業
設備貸与／経営者大学ミドルマネージメント工業コース／受注企業紹介／若手起業家大学に参加／情報化モデル企業育成事業／ISO取得研究会／地域プラットフォーム活動推進事業（商品化可能性調査事業）／自動車関連指導等の研修／工場管理実践塾／成長密着支援事業

今月の表紙／岩本電機の若手社員。入社6年目の菊地直樹さん（左）と3年目の松村佑介さん。岩本社長の母校、八戸工大電気工学科の後輩。「下請け企業からメーカーへの飛躍が、ぼくたちの目標であり夢です」

■岩本明佳社長。1958年、九戸郡洋野町（旧種市町）出身。83年、八戸工業大電気科卒。高校時代は硬式野球部のエースとして活躍、大学では肩を壊したため体育会ソフトボール部に。八戸工業大自治会会長、体育会委員長も務め、リーダーシップを発揮した。「妻の支えがあったからこそ、ここまでこれた」と、学生結婚した専務のいずみ夫人に感謝を忘れない。





あなたの経営課題を 解決します！

ご相談いただければ、
いろいろなことが
実現できます。

いわて産業振興センター地域力連携拠点事業をご利用下さい。

地域力連携拠点事業は、経済産業省が平成20年度から先進的な経営支援を行う中小企業支援機関等を地域力連携拠点に選定し、小規模企業を始めとする中小企業が抱える「経営力の向上」「新事業の展開」「創業」「情報化」「知的財産の活用」等の様々な課題に応じて、その具体的な解決をきめ細かに支援していくものです。

いわて産業振興センターは、経済産業省から地域力連携拠点として選定され、本事業により中小企業等の皆さまをご支援します。

支援内容

いわて産業振興センターでは、応援コーディネーターを中心に、他の中小企業支援機関（パートナー機関等）と連携し、主として以下のような支援を行います。

地域資源活用支援及農工商連携支援

地域の特徴的な地域資源（「農林水産物または鉱工業品」、「技術」、「観光資源」）の活用、または農林漁業者との連携によって新商品の開発や販路開拓、ブランド力構築等を行う際に必要な情報提供や具体的な助言を専門家の派遣等により支援します。

支援により事業化の見込める案件については、センターが運営実施する「いわて希望ファンド」^{注1}により事業化に必要な助成（事業費の1/2を助成。限度額2,000千円）を受けることができます。また、国が支援・実施する「中小企業地域資源活用プログラム」^{注2}の支援を受けられるよう支援を行います。

注1) いわて希望ファンドの概要は、本誌6頁をご参照ください。

注2) 中小企業地域資源活用プログラムの支援
地域資源を活用した新たな事業の事業計画について、国の認定を受けた中小企業は、事業化に必要な補助金（限度額20,000千円）、はじめ政府系金融機関による低利融資、設備投資減税など優遇措置を受けられます。

経営革新支援

新事業の展開（新商品の開発又は生産、新役務の開発又は提供、商品の新たな生産又は販売の方式の導入、役務の新たな提供の方式の導入、その他の新たな事業活動等）に向けた取り組みを支援します。

支援により県の経営革新計画の承認を受け、事業化の見込める案件については、センターが運営実施する「いわて希望ファンド」により事業化に必要な助成（事業費の1/2を助成。限度額5,000千円）を受けることができます。

情報化の支援

情報化の推進により経営の向上を図る企業を専門家の派遣等により支援します。

創業・起業の支援

創業しようとする者、若しくは創業して間もない企業を専門家の派遣等により支援します。

知的財産の活用支援

独自の技術や創造力（知的財産）、人脈や信頼等の無形の資産（知的資産）を活用する取組を支援します。

支援方法

拠点に相談窓口を設置し、応援コーディネーター又は窓口専門家が中心となり小規模企業等の皆さまからの相談に応じ、経営課題を把握し、経営力の向上、創業等の課題に応じた支援を行います。

また、経営課題に応じて各分野の専門家を派遣してきめ細かい支援を行います。
なお、支援に係る費用は無料です。

いわて希望ファンド 地域活性化支援事業を公募中です!!

2次公募

7月22日(火)
まで

県内中小企業等の革新的・个性的な取組みにより地域経済の活性化を図るため、創業、経営革新に向けた取組みについて助成金の交付と専門家の派遣等のソフト支援によって総合的に支援します。

〈事業メニュー〉

〈起業・新事業活動支援事業〉

創業・起業や経営の革新に資する中小企業等の以下の取組みを支援

～市場調査・動向調査、新商品・新技術・新役務の開発又は事業化、販路開拓、人材養成等～

【対象者】・創業する者
・中小企業者(法人又は個人事業者)
・特定非営利活動法人(NPO)、農事組合法人等(地域資源活用枠のみ)

①地域資源活用枠

「地域資源」(農林水産物、鉱工業品又はその生産技術、文化財や温泉等の観光資源など)を活用する事業

【助成率】1/2

(大船渡、釜石、宮古、久慈及び二戸振興局管内の者が同地域で取組む事業は2/3)

【助成限度額】200万円 【助成期間】3年以内

②起業・経営革新枠

創業者(創業・起業から3年以内)が取り組む事業又は経営革新計画の承認を受けた事業

【助成率】1/2 【助成限度額】500万円

【助成期間】3年以内

〈中心市街地活性化支援事業〉

中心市街地や商店街の活性化に向けての革新的な以下の取組みを支援

～市場調査・動向調査、新商品・新役務の開発又は企業化、販売促進・販売力強化、業種構成再編・遊休資産活用～

【対象者】・中心市街地の活性化に関する法律第15条第1項各号に掲げる者
・小売・サービス業(飲食店を含む)を営む県内に住所のある中小企業者(法人又は個人事業者)
・商工会、商工会議所
・知事が適当と認める特定非営利活動法人(NPO)

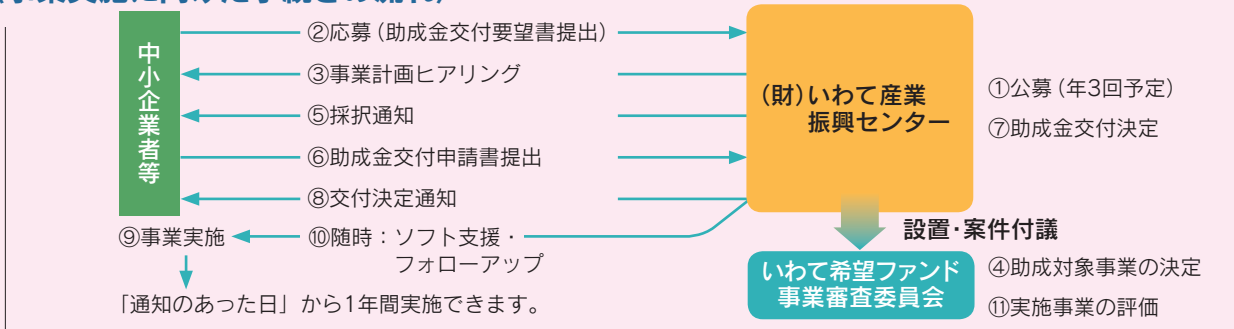
【助成率】9/10

(店舗賃借料については、「店舗賃借料/月×月数(助成対象期間×1/3)」の算式によって算出された額の9/10)

【助成限度額】200万円 【助成期間】3年以内

支援機関による支援事業はテーマを定めて必要性が生じた都度公募予定

〈事業実施に向けた手続きの流れ〉



●詳しくはホームページをご覧ください。
(財)いわて産業振興センター 総合支援グループまでお問い合わせください。

企業検索料金改定のお知らせ

企業検索システムは全国主要企業の業績等データを収録しており企業名等での検索が可能です。

企業検索システムは2メニュー(帝国データバンク企業情報・東京商工リサーチ企業情報)で実施しており、7月1日より「帝国データバンク企業情報」を利用した企業検索システムにつきまして利用料金を改定させていただきます。

ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。
新事業・研究開発支援グループ 担当/工藤
TEL 019-631-3827 FAX 019-631-3830

〈帝国データバンク企業情報〉

現行料金	1,260円/件	➡	新料金	1,880円/件
------	----------	---	-----	----------

賛助会員				
現行料金	630円/件	➡	新料金	840円/件

※「東京商工リサーチ企業情報」の料金変更はありません。

生産方法の特色学習 (模擬演習マニュアル) セットを貸し出します!

当センターでは、主に量産製品の製造工程における様々な生産方法を、模擬演習を通じその特色を体験比較することにより、既存工程の改善や今後の工程計画に生かすことを学習できる教材(生産方法の特色学習セット: 模擬演習マニュアル)をつくりました。

この学習を通じて学べることは、学習をもとに製品の持つ特徴に最適な生産方法を体験することです。

さらに、その生産方法の違いにより、その中に潜在する加工以外の付加価値を生まないあらゆる『ムダ』を顕在化し、なぜそれが発生しているかを追及し、改善することで、効率の良い生産工程を実現していくことを目的とするものです。

つきましては、県内の企業を対象に、この教材を貸し出します。企業の担当者が指導できるように、司会マニュアルも用意しておりますので、初心者でも実施できるものです。

今後の自社の製造工程に活かしていただき、より良い生産方法を学んでいただければ幸いです。

代表的な生産方法 様々な生産方法の中から、以下に挙げる代表的な3つの生産方法について、演習を通じながら、その長所・短所を体験比較できます。

1	セル生産(一人完結型)	=製品の最初から完成までを一人で行なう。
2	ダンゴ生産(分割・ロット型)	=製品の最初から完成までを分けて、ロット単位で工程間を流す。
3	流し生産(一個流し型)	=製品の最初から完成までを分割し、一個単位で工程間を流す。

※企業研修担当者が単独で出来るように、センターにて事前研修を実施します

※研修道具は無償でお貸ししますが、配送等にかかる費用は有償となります(取りに来られない場合)

【お申し込み】 育成支援グループ TEL 019-631-3823 担当/山根・福島

この自動車を
組立てながら
学習します



岩手ものづくり基盤技術PR冊子 「いわての技」を作成、発刊しました。

県では、県内のものづくり企業が有するオンリーワン・ナンバーワンなどの優れた基盤技術を県内外に広くPRしようと、50(50社)の技術を選定し、岩手ものづくり基盤技術PR冊子「いわての技」としてまとめました。

この冊子は、専門的な表現を極力避け、イラストや写真を盛り込みながら、技術の概要やポイント、さらにその技術の活躍例を具体的に表現し、若年者を含めた一般の方にも技術内容を理解し、親しみをもちやすいものとなっています。

ご希望があれば直接配布をしていますので、ご希望ある場合、またその他詳細については、担当者までお問い合わせください。

**【お問い合わせ】 岩手県 商工労働観光部 科学・ものづくり振興課 担当/工藤
TEL 019-629-5553**



「下請かけこみ寺」 移動相談所開設のお知らせ

◎「下請かけこみ寺」事業は、国からの委託事業です。

◎取引に関する中小企業の皆様からのどんな悩みにも相談員が親身になって相談に応じます。

◎弁護士へ調停を依頼する「裁判外紛争解決手続(ADR)」も整備しております。

◎ADR事業ほか相談にかかる費用は無料です。

<p>【一関会場】 開設場所：(財)岩手県南技術研究センター 開設月日：7/29(火) 開設時間：13:00~15:00</p>	<p>【宮古会場】 開設場所：宮古地方振興局 開設月日：8/26(火) 開設時間：13:00~15:00</p>	<p>【釜石会場】 開設場所：(財)釜石・大槌地域産業育成センター 開設月日：8/27(水) 開設時間：13:00~15:00</p>
<p>【大船渡会場】 開設場所：大船渡商工会議所 開設月日：8/28(木) 開設時間：13:00~15:00</p>	<p>【二戸会場】 開設場所：二戸広域観光物産センター なにゃーと3階 開設月日：8/6(水)、9/3(水) 開設時間：10:00~15:00</p>	<p>【久慈会場】 開設場所：久慈商工会議所 開設月日：9/4(木) 開設時間：10:00~15:00</p>

【お問い合わせ】 (財)いわて産業振興センター(盛岡市飯岡新田3-35-2)

TEL 019-631-3822 E-mail: johou@iwate.or.jp 担当/伊藤・渡辺

センターでは、新たな事業の創出とその発展を図るため、新しい独自のビジネスプランを募集し、第4回いわてビジネスプラングランプリを開催します。新規・独自性、市場性、社会貢献度等を評価し審査の結果、優秀と認められるビジネスプランを発表された方に部門ごとにグランプリとして50万円を助成し、ビジネスプラン実現に向けバックアップします。

IWATE Business plan Grandprix 第4回いわてビジネスプラングランプリ 賞金50万円

募集期間:平成20年7月1日(火)~9月1日(月)必着 **ビジネスプラン募集!**

応募資格 [スタートアップ部門] 県内で1年以内に創業を目指している方、若しくは県内において創業(個人・法人を問わず)後3年以内の方で新技術やビジネスアイデアにより事業展開を図っている方。
[イノベーション部門] 県内で創業後3年以上を経過し、新商品開発や新サービス開発等の新事業展開により事業革新を図っている方。

募集期間 平成20年7月1日(火)~9月1日(月)必着

主催 財団法人いわて産業振興センター

共催 いわて起業家サポーターネットワーク会議構成機関 [岩手県・岩手県商工会議所連合会・岩手県商工会連合会・岩手県中小企業団体中央会・国立大学法人岩手大学地域連携推進センター・公立大学法人岩手県立大学地域連携研究センター・フューチャーベンチャーキャピタル(株)岩手事務所]

後援 (財)岩手県南技術研究センター、(財)釜石・大槌地域産業育成センター、(株)北上オフィスプラザ、花巻市起業化支援センター、宮古市産業支援センター、盛岡市産業支援センター (五十音順)

応募・問い合わせ 〒020-0852 盛岡市飯岡新田3-35-2

財団法人いわて産業振興センター 新事業・研究開発支援グループ

TEL.019-631-3825 FAX.019-631-3830 URL <http://www.joho-iwate.or.jp>



スタッフからひと言

営業・新規取引先 開拓のバックアップ

育成支援グループリーダー
兼田光治

この度の岩手・宮城内陸地震で被害に遭われた皆様に対し、謹んでお見舞い申し上げます。

さて、風が吹けば砂ほこりが立ち、人の目に入って盲人が増え、盲人は三味線を習うので猫の皮が必要になる。そのため猫が殺されるとネズミが増え、ネズミは桶をかじるから桶屋が儲かるという話「風が吹けば桶屋が儲かる」。

しかし、今は色々な風が吹き非常に難しい時代になっている。

原油高騰による「ガソリン値上げ風」が吹きあれ、ものづくり産業は「材料や副資材の値上げ風」が吹きあれ、収益性が減少・悪化傾向にある。取引先によって材料値上がり分を単価で見えてくれるところもあるが、そうでないところもある。

企業経営にとって儲けることは「信じる者」(得意先)を増やすこととなりますが、経営者及び営業担当者の方々は既存取引先との信頼関係の維持、また営業強化や新規取引先の開拓に日々努力邁進されていることと思います。

当センターでは工業ものづくり産業(機械加工・金属加工・プレス・樹脂成形・鋳物加工・電気部品加工など)を主体に営業強化や新規取引先開拓のバックアップを行うため「取引あっせん」「商談会の開催」「製品展示会」などの事業を行っております。

受注チャンネルを広げ、良きパートナー探しのお手伝いをしておりますので、是非活用してください。